

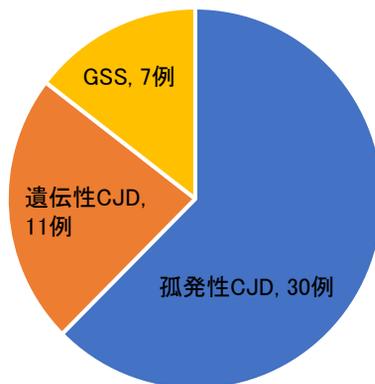
九州・山口・沖縄地区におけるプリオン病の疫学調査報告

研究分担者：九州大学大学院医学研究院神経内科学 磯部紀子

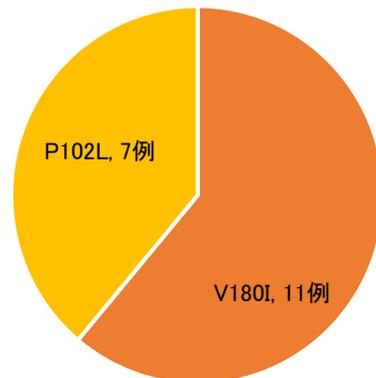
2024年度のサーベイランス状況(75例)

	sCJD	gCJD	GSS	否定・その他
山口	1	0	0	0
福岡	13	5	2	17
佐賀	0	0	3	2
長崎	0	0	0	0
熊本	3	1	0	1
大分	1	3	1	4
宮崎	8	1	1	2
鹿児島	0	0	0	0
沖縄	4	1	0	1
合計	30例	11例	7例	27例

プリオン病の内訳



遺伝性プリオン病 変異の内訳



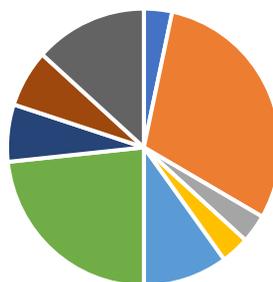
直近5年間(2020-2024)での県別報告数

	sCJD	gCJD	GSS
山口	6	1	0
福岡	34	9	13
佐賀	10	1	7
長崎	15	1	0
熊本	14	3	0
大分	16	7	1
宮崎	12	2	1
鹿児島	7	2	1
沖縄	12	4	0
合計	126例	30例	23例

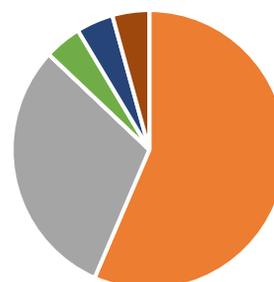
孤発性CJD



遺伝性CJD



GSS



■ 山口県 ■ 福岡県 ■ 佐賀県 ■ 長崎県 ■ 熊本県 ■ 大分県 ■ 宮崎県 ■ 鹿児島県 ■ 沖縄県

GSSは福岡県13例、佐賀県7例、大分県1例、宮崎県1例、鹿児島県1例、その他の県は0例であった

解説

- 2024年度において九州・山口・沖縄地区の75例プリオン病疑い症例について調査を行い、サーベイランス委員会で報告した。
- 48例のプリオン病が報告され、30例(62.5%)が孤発性CJD、11例(23%)が遺伝性CJD、7例(14.5%)がGSSで、遺伝性CJDは全例がV180I、GSSは全例P102L変異をみとめた。
- GSSは直近5年間でも福岡県、佐賀県からの報告例が多く、既報告と同様に有明海沿岸部など集積性がある可能性が示唆された。